



2024年4月8日

各 位

会社名 株式会社 ワコム
 代表者名 代表取締役社長兼 CEO 井出 信孝
 (コード番号 6727【東証プライム】)
 問合せ先 取締役兼 CFO 町田 洋一
 電 話 03-5337-6502

**新任社外取締役（監査等委員である取締役を除く。）候補者、及び
 新任監査等委員である社外取締役候補者の選任、並びに人事異動等に関するお知らせ**

当社は、2024年4月8日開催の取締役会において、新任社外取締役（監査等委員である社外取締役を除く。）候補者及び新任監査等委員である社外取締役候補者の選任について、指名委員会の提案を受け、下記の通り決議いたしましたので、お知らせいたします。また、監査等委員である社外取締役の人事異動についても、あわせてお知らせいたします。

なお、監査等委員の選任につきましては、監査等委員会の同意を得ております。また、社外取締役候補者の選任の件につきましては、2024年6月に開催予定の当社第41回定時株主総会における承認を経て、正式に決定する予定です。

上記選任等は、取締役会の監督機能の更なる強化に資する示唆を得ることを目的として、社外取締役も参加した機関投資家株主の皆様との積極的かつ建設的な対話からいただいた意見を踏まえ、取締役会において議論を重ねた結果によるものです（「機関投資家株主の皆様との対話状況」については、添付をご参照下さい）。

記

1. 新任取締役（監査等委員である取締役を除く。）候補者の氏名及び略歴等

氏名 (生年月日)	略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況
なかじま たかふみ 中嶋 崇史 (1985年2月22日)	2014年4月 株式会社リクロスエクスパンション代表取締役（現任） 2018年2月 株式会社球磨村森電力代表取締役（現任） 2023年5月 株式会社五木源電力代表取締役（現任） 2023年7月 株式会社ティーダパワー代表取締役（現任）

(注) 中嶋崇史氏は、東京証券取引所の定める独立役員要件を満たしており、同氏が社外取締役に就任した場合には、独立役員として同証券取引所に届け出る予定です。

選任理由及び期待される役割の概要

当社取締役会のスキルマトリックスに、サステナビリティの観点から新たな知見を充足するため、

環境に関する豊富な知識及び企業経営者としての経験を活かし、当社の業務執行取締役に対する指導や事業への助言をいただけることを期待し、社外取締役として選任をお願いするものであります。

なお、中嶋氏が現任として代表取締役を務める株式会社球磨村森電力、株式会社五木源電力、及び株式会社ティーダパワーは、株式会社リクロスエクスパンションの完全子会社であり、兼職による業務負担が当社社外取締役の職務執行に与える影響は軽微であるとの報告を受けております。

2. 新任監査等委員である取締役候補者の氏名及び略歴等

氏名 (生年月日)	略歴、地位、担当、重要な兼職の状況
<p style="text-align: center;">おの ゆうじ 小野 祐司 (1968年2月19日)</p>	<p>1991年4月 東洋信託銀行株式会社（現 三菱UFJ信託銀行株式会社）入社 2009年1月 弁護士登録 2014年4月 慶応義塾大学法科大学院講師（現任） 2017年4月 三菱UFJ信託銀行株式会社コンプライアンス統括部副部長 2019年4月 同社法務部部長 2022年4月 日本マスタートラスト信託銀行株式会社業務管理部部長 2023年4月 リンクパートナーズ法律事務所入所（現任） 2023年7月 バンクガード株式会社社外監査役（現任） 2024年2月 管理者トラスト株式会社代表取締役（現任）</p>

（注）小野祐司氏は、東京証券取引所の定める独立役員の要件を満たしており、同氏が社外取締役に就任した場合には、独立役員として同証券取引所に届け出る予定です。

選任理由及び期待される役割の概要

弁護士として法律の知識及び豊富な経験に基づく法的観点やコンプライアンスの観点から当社取締役の業務執行及び事業に対する監査を行っていただけることを期待し、監査等委員である社外取締役として選任をお願いするものであります。

なお、小野氏は、過去三菱UFJ信託銀行株式会社の使用人として務めておりましたが、同行との間に当社の経営に影響を与えるような特記すべき資本関係、人的関係及び取引関係はございません。

3. 退任する監査等委員である社外取締役

監査等委員である社外取締役嘉村孝氏は、2024年6月に開催予定の当社第41回定時株主総会の終結の時をもって、当社の社外取締役を退任する予定です。

なお、社内取締役含めた当社の取締役会の全体の構成についても、ガバナンス体制の更なる強化を図るため引き続き議論を重ねており、決定次第改めてお知らせいたします。

<添付：機関投資家株主の皆様との対話状況>

当社は、機関投資家株主の皆様には、当社との対話を通じて、中期経営方針「Wacom Chapter 3」を含む企業価値向上に向けた取り組みやこれを推進するガバナンス体制について一層の理解を深めていただくとともに、機関投資家株主の皆様からのご意見を経営陣及び取締役会に報告し、経営戦略に反映することにより、当社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を図っていくことが可能になると考えております。

機関投資家株主の皆様との対話においては、IR担当者に加え、代表取締役社長を含む経営陣や、少数株主の代表である独立社外取締役の出席の機会を十分に設け、客観的な視点による納得性の高い対話の実現に努めてまいりました。

これらの対話のなかで、取締役会の監督機能の更なる強化等に関するご意見もいただきました。当社としても取締役会における監督機能の強化について継続的に検討してきた結果、本文の通り、第41回定時株主総会では新たな独立社外取締役の選任議案を上程し、ガバナンス体制の強化を図る予定です。

その一環として、既にブランド製品事業の運営体制の強化に資するTask Forceチームを組成しております。Task Forceチームが、その活動状況を社外取締役が過半数を占める取締役会に直接報告することとしているため、少数株主の代表として機能する独立社外取締役5名（第41回定時株主総会後は6名）による監督を詳細に行える体制となっており（詳細については、「2024年3月期 第3四半期決算説明資料」P.27を参照）、機関投資家株主の皆様との対話においても好意的に受けとめられております。

当社は、新たなガバナンス体制の下、株主の皆様との対話を通じ、当社の企業価値の継続的向上を図ってまいります。

<別表>機関投資家との対話実績（2023年4月～2024年4月5日）

内容	当社側対応者	延べ出席回数
決算説明会	代表取締役社長	3
	IR担当役員	3
個別面談	代表取締役社長	35
	IR担当役員	47 (うち、同席回数33)
	独立社外取締役	15 (同13)
合計		103

(注) 同期間のインベスターリレーションズに関わる取材等への対応件数は、延べ約160件でした。
うち、個人投資家様向け会社説明会（質疑応答も含む）に2回参加し、延べ約920名が参加されました。
また、機関投資家株主の皆様向けの技術説明会を4回実施しました。

以上